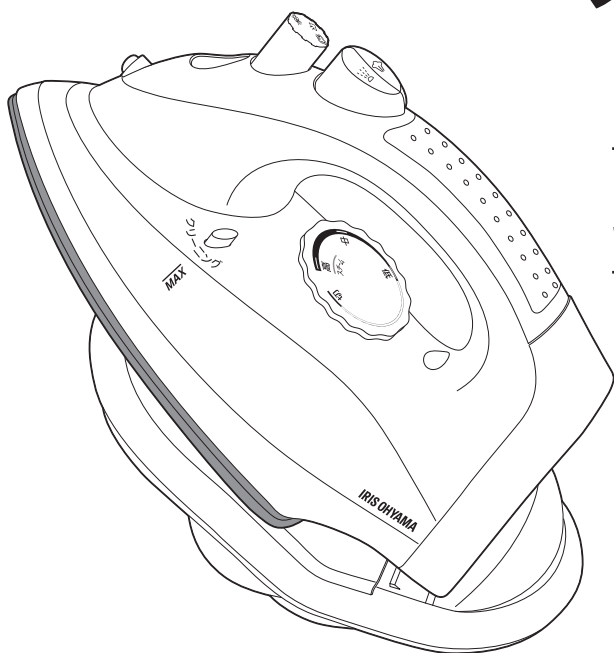


コードレス スチームアイロン SIR-02CL

取扱説明書



この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

保証書付 (裏表紙)

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。
- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ご使用前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。

もくじ

ご使用前に

安全上の注意	2
各部の名称	6

取り扱いかた

使いかた	8
上手な使いかた.....	11
お手入れ	12

こんなときには

故障かな？と思ったら.....	14
仕様.....	15
保証とアフターサービス	15
保証書	裏表紙

安全上の注意

使用する前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。ここに示した注意事項は、お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのもので、「警告」「注意」の2つに分けて説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

図記号の意味



注意を示す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは定期的に取り
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。
- 電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付いているときは、乾いた布でよくふき取る
湿気などで発火・絶縁不良の原因になります。

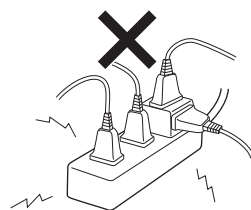


プラグを抜く

- お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電やけがの原因になります。
- 使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電やけがの原因になります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



- 電源コードを傷つけない
- 持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない
傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、修理専用コールへお問い合わせください。
- 交流100V以外では使わない
火災・感電の原因になります。
- 乳幼児にプラグをなめさせない
けがや感電の原因になります。
- コンセントや延長コードなどの定格を超える使いかたをしない
火災の原因になります。





ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。



- 電源コードをたばねて通電しない
過熱してやけどや火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。



- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。

【異常の例】

- ・ 異常な音やにおいがする
 - ・ 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
 - ・ 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
 - ・ 触れるとビリビリ電気を感じる
- ➡使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。



- 使用時や使用後は、本体をスタンドに確実にセットする
発火の原因になります。



- 取扱説明書に記載した以外の使いかたをしない
火災・やけど・感電・けがの原因になります。

- 子供や取り扱いに不慣れな方だけで使わせたり、幼児に触れさせたりしない
感電・けが・やけどの原因になります。

- アイロンに損傷のある場合は使用しない

- アイロン通電中はアイロンから離れない
火災の原因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で使用しない
感電やショートによる火災などの原因になります。



水ぬれ禁止

- 本体に水をかけない
- 本体を水洗いしない
漏電やショートを起こし、火災・感電の原因になります。



分解禁止

- 分解・修理・改造をしない
火災・感電・けがの原因になります。
- 修理については、お買い上げの販売店または修理専用コールへお問い合わせください。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



- 湿った衣類（霧吹きした衣類）は「ドライ」でアイロンかけをする
「スチーム」でアイロンかけをすると、湯滴が出てやけどの原因になります。
- コートや毛足の長い衣類は、かけ面を離してショットをかける衣類を傷める原因になります。



接触禁止



- アイロン内部にピンや針金などを入れない
また、衣類に縫い針などをさしたまま、アイロンかけをしない
アイロン内部に入り、ショートや故障の原因になります。
- スタンドを激しく回転させない
アイロンがスタンドから飛び出したり、電源コードが巻き付いたりして、感電・けが・やけどの原因になります。
- スタンドを回転させるときは、電源コードをアイロンに巻き付けけない
電源コードが傷付いて火災・感電の原因になります。
- ショットの勢いが弱くなったらショットボタンは操作しない
湯滴が出てやけどの原因になります。
- ショットボタンを連続して早く操作しない
湯滴が出て、やけどや衣類をよごす原因になります。
2秒間隔より早く操作しないでください。
- スタンドの接点にピンやごみを付着させない



- 熱いスチームやショットを手やひざにかけない
また、衣類を着用したままスチームやショットをかけない
アイロン台によっては、スチームが透過して、熱いスチームや湯滴でやけどをするおそれがあります。
- 衣類の絵表示より高い温度目盛でアイロンかけをしない
布地を傷める原因になります。
- アイロンを傾けたり、前後に激しく動かしたり、落としたりしない
かけ面先端は細くとがっていますので、床面が傷ついたり、けが・やけど・水もれの原因になります。
- アイロンの近くで可燃性ガス（ベンジンなど）が発生するものを使わない
火災や故障の原因になります。
- 電源コードがねじれたままで収納しない
電源コードに負荷がかかり断線し、感電やショートによる火災などの原因になります。
- 家庭での衣類以外には使用しないでください。
けがや物的損害、故障の原因になります。
- 上水道の水以外の液体（蒸留水や井戸水、リネンウォーターのような香料を含んだ水など）をタンクに入れない
故障や衣類をよごす原因になります。
- 皮革製品・絹などにはスチームをかけない
衣類を傷める原因になります。

お願い

■ アイロンの故障・破損などを防ぐために

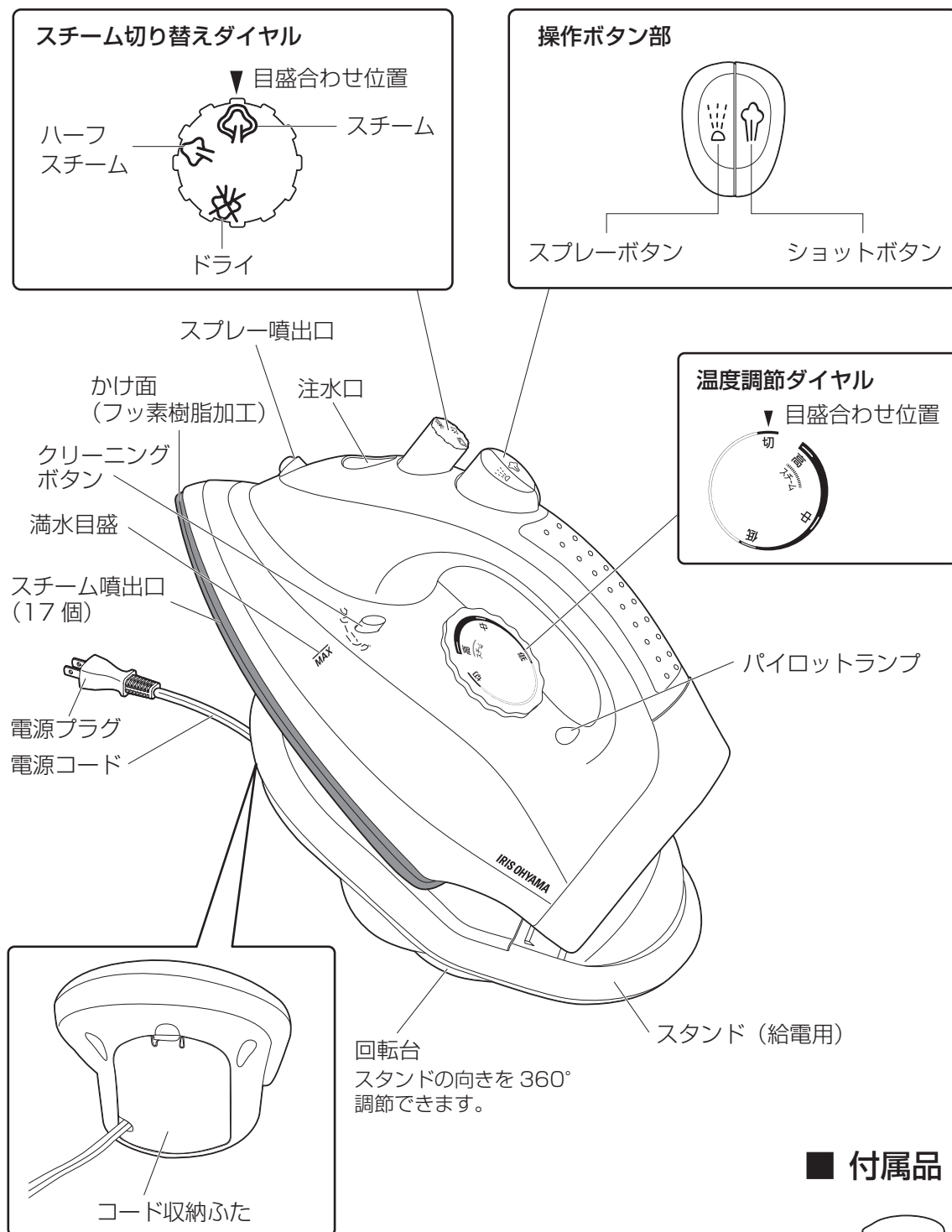
- ハンドルは、強い力で押さえずぎないでください。
破損の原因になります。
- かけ面をスタンドにぶつけないでください。
かけ面のフッ素樹脂コートが変形したり傷が付きます。
- 脱水直後の衣類はアイロンかけをしないでください。
蒸発した水分がアイロン内部に入り、故障の原因になります。
- ケースを直射日光の当たるところに置かないでください。
割れ・変色の原因になります。
- ボタン、ファスナーなどのかたいものにはアイロンをかけないでください。
かけ面の傷付きの原因になります。
- 市販品のあて布用アタッチメント（かけ面カバー）は使用しないでください。
故障の原因になります。
- 本体をベンジン・シンナー・アルコールなどでふかないでください。
故障・損傷の原因になります。

■ 衣類のよごれ・傷みなどを防ぐために

- スプレーのりは成分にシリコン系が配合されたものを使用し、「ドライ」で仕上げててください。
シリコン系が配合されていないのりを使用したときは、かけ面にのりが付着して茶色く変色し、すべりが悪くなります。かけ面のお手入れをしてください。
かけ面にのりが付いていると、衣類のよごれの原因になります。
- 高級品や特殊加工品などには目立たないところにためしかけをする
ベルベット、アクリル、ナイロン、カシミアなどは特に気を付けてください。
- アップリケや接着芯などを接着するとき、または布地のテカリを防止するには「あて布」をする
温度設定を「高」にし、スチーム切り替えダイヤルを「ドライ」にして、「あて布」をしてください。
説明書が添付されているときは、その説明書に従ってください。

各部の名称

■ 本体



■ 付属品



注水カップ

コードレスアイロンとは？

アイロンをスタンドに置くと、ヒーターに通電してアイロンのかけ面に熱を蓄え、かけるときにその余熱を利用します。

アイロンかけ中はかけ面の温度が徐々に下がりますので、「衣類を整えているとき」などアイロンを使用していないときは、アイロンをスタンドに戻し給電しながら使用してください。

■ 絵表示の見方と温度の関係

温度目盛	低	中	高
スチーム	×	×	○
スチームショット	×	×	○
ドライ	○	○	○
絵表示			
布地・繊維の種類	アクリル・アクリル系 ビニリデン ポリプロピレン ポリウレタン	毛・絹・アセテート ポリエステル・ナイロン レーヨン（長繊維） キュプラ・ビニロン	麻・綿・レーヨン（短繊維） ポリノジック
			毛（スチームショット）
かけ面の温度	約100℃	約150℃	約190℃
設定温度になるまでの時間	約30秒	約40秒	約60秒

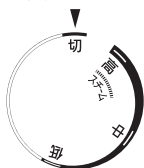
絵表示の 見かた	 指定された温度であて布をする意味です。
	 指定された温度で布地の裏からかける意味です。
	 アイロンかけはできません。
	その他「スチーム禁止」などの表示がある場合はその指示にしたがってください。

- 衣類に絵表示がある場合は、絵表示に合わせてください。
- 絵表示のない場合は、繊維名にしたがい温度目盛を合わせてください。混紡の場合は、低い方の繊維に合わせてください。
- 使用中、アイロンを止めたり、極端にゆっくり動かしたりすると、布地に合った温度目盛でも布地を傷めることがありますので気をつけてください。
- 熱に弱い繊維（化繊・絹・毛など）にアイロンをかけるときは「ためしかけ」をするか「あて布」をしてください。
- ビニロンに湿り気を与えてアイロンかけをしないでください。

使いかた

1 温度調節ダイヤルを「切」に合わせる

温度調節ダイヤルを「切」に、スチーム切り替えダイヤルは「ドライ」に合わせます。



温度調節ダイヤル スチーム切り替えダイヤル

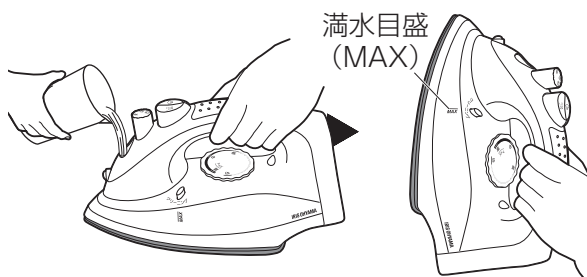


注意

- ご使用になる前は、スチーム切り替えダイヤルを必ず「ドライ」の位置に合わせてください。ドライ以外の位置で水を入れると、スプレー噴出口から水が出ることがあります。

2 注水タンクに水を入れる

付属の注水カップなどを使用して、満水目盛（MAX）の位置まで注水タンクに水を入れます。



注意

- 蛇口から直接水を入れないでください。
- 注水口以外に水がかかった場合は、拭き取ってください。
- 満水目盛（MAX）以上の水は入れないでください。あふれたり漏れたりします。
- 注水タンクには、上水道の水を入れてください。ミネラルウォーター・アルカリイオン水・リネンウォーターなどの香料を含んだ水は入れないでください。
- スチームショット・スプレーを使用するときは、注水タンクに水が1/4以上入っている状態にしてください。

※ドライアイロンとしてお使いになるときは、注水タンクに水を入れる必要はありません。

3 電源プラグをコンセントに差し込む

スタンドの電源プラグをコンセントに差し込みます。



注意

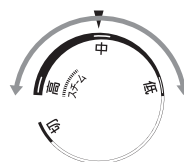
- 定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使用してください。他の機器と併用すると、発熱による火災・故障の原因になります。

4 アイロンをかける

■ドライアイロン

①温度調節ダイヤルを布地に適した温度に設定する

衣類の取扱い絵表示を確認して、適温に設定します。（P7参照）



通電が始まり、パイロットランプが点灯します。



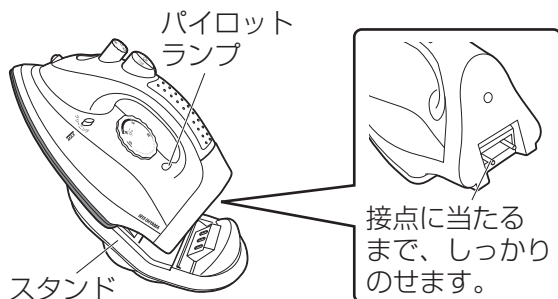
注意

- 混紡の場合は、低いほうの布地に合わせて温度設定をしてください。

②パイロットランプが消灯したら、アイロンを使用する

●給電するとき

- ・アイロンをスタンドの接点部に当たる様に置くと給電します。
- ・アイロンを使用しない時や、衣類を直す時は、スタンドの接点部にまっすぐ止まるまで戻してください。
- ・パイロットランプが点灯しているときは、消えるまで待ってから使用してください。
- ・温度設定を高い温度から低い温度に変えた場合はかけ面が冷めにくいいため適温になるまで時間がかかります。パイロットランプが一度点灯した後、再び消灯してから使用してください。



スタンド接点部のスパーク（火花）の発生について

コードレスアイロンはスタンドに置くと電気が通じ、設定温度を保ちます。アイロンをスタンドに「置くとき」または「はずすとき」にスタンドの接点部よりスパーク（火花）が発生することがありますが、異常ではありません。

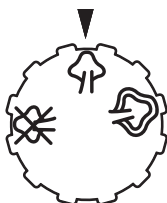


注意

- 使い始めのうちは、スチームが出るまで時間がかかることがあります。
- スチームの出が悪いときは、ショットボタンを数回押して、スチームを出してください。また、使い始めは空気とスチームがいっしょに出るので大きな音が出る時がありますが異常ではありません。くり返しスチームを出していると音はなくなります。

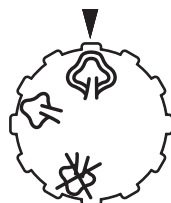
ハーフスチーム

薄手の布や混紡などの仕上げに



スチーム

厚手の布や綿などの仕上げに



③アイロンを水平にして、スチームアイロンを使用する

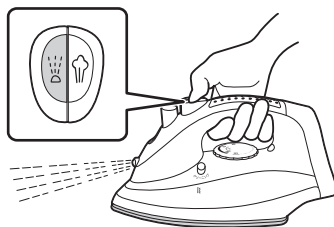
アイロンを水平にすると、スチーム噴出口からスチームが噴出します。

■スプレー（霧吹き）

布地に霧吹きをするときに

①アイロンを水平にして、スプレーボタン（☼）を押す

アイロンを水平にし、衣類から10cm程度離して、スプレーボタン（☼）を押します。スプレー噴出口からスプレー（霧状の水）が噴出します。



※スプレーは、スチーム切り替えダイヤルがどの位置でも使用できます。



注意

- 目立たないところで試しがけをしてから使用してください。
- 初めてお使いになるときは、数回スプレーを空噴きしてからご使用ください。

■スチームショット

強力なスチームで、毛製品のシワのばしやセーターなどのふっくら仕上げに

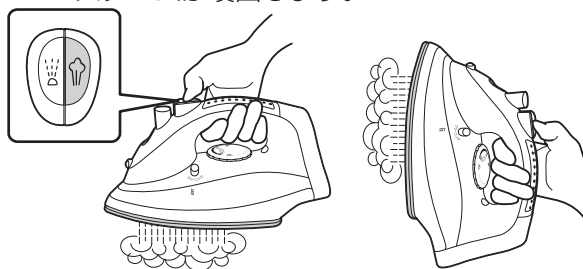
①温度調節ダイヤルを「高」にする

通電が始まり、パイロットランプが点灯します。
設定温度に達すると、パイロットランプが消灯します。



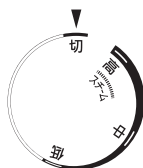
②パイロットランプが消灯したら、ショットボタン (🔥) を押す

アイロンは、水平・垂直どちらでもご使用できます。ショットボタン (🔥) を押すと(2秒以上間隔をあける) スチーム噴出口からスチームが噴出します。



- 初めてお使いになるときは、スチームからにおいがすることがありますが、ご使用とともになくなります
- スタンドから外して連続してアイロンができる時間は1分～2分です。(使用条件により異なります。「高」設定「スチーム」使用)
- スタンドからはずしてショット可能な回数は5～10回が目安です。ショットの勢いが弱くなったら、給電してお使いください。
- かけ面の温度が上がらないうち(パイロットランプが消灯しないうち)、または温度調節ダイヤルを「高」より低い温度に設定した場合や、かけ面の温度が下がった場合、スチーム噴出口から水や熱湯が噴き出す事があります。
- 満水時に、前後に細かく動かすとタンクから水が漏れることがありますので注意してください。
- アイロンは逆さまにしないでください。水や熱湯がこぼれてやけどをしたり、衣類を汚したりすることがあります。

5 温度調節ダイヤルを「切」に、スチーム切り替えダイヤルを「ドライ」にする



温度調節ダイヤル スチーム切り替えダイヤル

6 電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグを持ってコンセントから抜きます。

7 注水タンクの水を捨てる

本体を逆さにして注水タンクに残った水を捨てます。

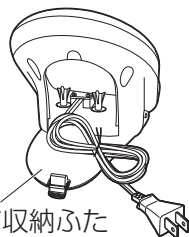


注意

- 内部に残った水は、必ず捨ててください。本体内部の変色やにおいの原因になります。
- 冷えてから排水したときは、温度調節ダイヤルを「高」に設定し、スチーム切り替えダイヤルを「ドライ」に設定して、約5分間通電して乾燥させてください。

8 収納する

アイロンをスタンドにのせ、十分に冷ましてから、電源コードをスタンドに収納します。



コード収納ふた



注意

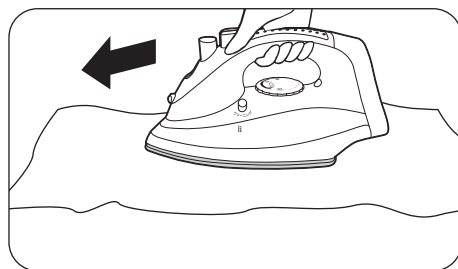
- ご使用にならない場合は、必ずスチーム切り替えダイヤルを「ドライ」の位置にあわせてください。「スチーム」や「ハーフスチーム」の位置にあると、注水タンクに残った水が漏れる恐れがあります。

上手な使いかた

■アイロンかけの基本動作

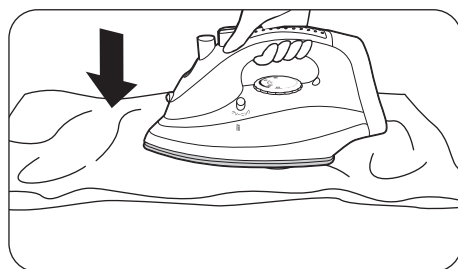
滑らす

もどりジワを防ぐため一方向に軽くかけます。



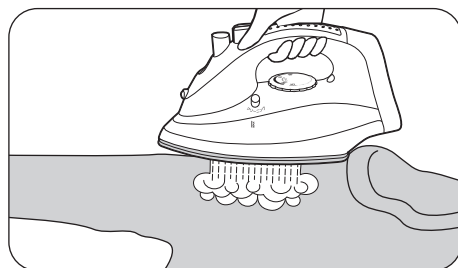
押さえる

ガンコなシワ、厚手の布地の折り目つけなどはしっかり押さえます。



浮かせる

ふっくら仕上げには軽く浮かせてスチームをかけます。



- アイロンをかけるときは、片方の手でぬい目を引っ張ったり、布を押さえたりしながら、両手を上手に使いましょう。

お願い

- ボタン・ファスナーなどの固いものにはアイロンをかけないでください。フッ素樹脂コートがはがれる原因になります。

市販のスプレーのりや洗濯のりをご使用になるときは

スプレーのり…「ドライアイロン」で仕上げます。

- ・「パリッ」と仕上げたいときは「スプレーのり→ドライアイロンかけ」をくり返します。
- ・こげつきを防ぐため、スプレーのりはシリコン系が配合されたものをお使いください。（一度に多量のスプレーのりをかけると、かけ面のこげつきの原因になります。）

洗濯のり…のりづけ後、布地が乾いてから「ドライアイロン」で仕上げます。

- ・シワが取れにくいときは霧吹きをお使いください。かけ面にのりが付着することがありますが、そのときは下記のようにお手入れしてください。

すべりが悪くなったときは

- ・かけ面が十分に冷めてから、ぬれた布でふいてください。かけ面にのりがついてしまうと、衣類の汚れの原因になります。

上手な使いかた つづき

●綿や麻などには霧吹きをしましょう

綿や麻などは霧吹きをしてから「ドライアイロン」をかけるときれいに仕上がります。

●効率のよいアイロンかけをしましょう

アイロンかけの前に衣類を分類し、低温のものから高温のものへ、また、薄地のものから厚地のものへかけます。

●かけ面に衣類がからみつくときには

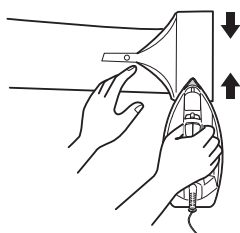
途中でアイロン本体を持ち上げると本体に軽い衣類は張りついてきます。静電気が発生していますので、衣類の端まですべらせてからアイロンを持ち上げます。

■ワンポイントアドバイス

ワイシャツ

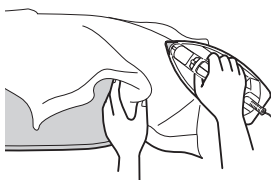
カフス

裏からアイロンをかけます。
ぬい目を引っ張りながら、
中心に向かってかけます。



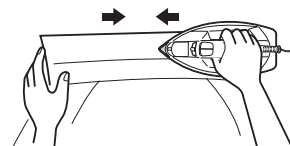
肩・ヨーク

アイロン台の先端を
使ってかけます。



えり

ぬい目を引っ張りながら端から
中心に向かってかけます。



セーター 全体の仕上げ

アイロンを浮かせて全体にスチームショットをかけます。

ズボン たるんだ部分や伸びた部分など

らせん状にスチームショットをかけます。

お手入れ



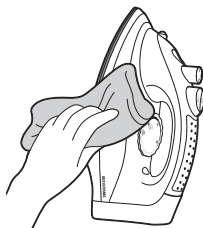
注意

- お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 本体・かけ面が十分に冷めてからお手入れしてください。やけどの恐れがあります。
- 直接水をかけたり、丸洗いはしないでください。
- 研磨剤入り洗剤・磨き粉・たわし・ナイロンや金属製のたわしは使用しないでください。表面を傷つける原因となります。
- 台所用中性洗剤以外の洗剤、シンナー・ベンジンなどは使用しないでください。表面を傷つける原因となります。

お手入れ つづき

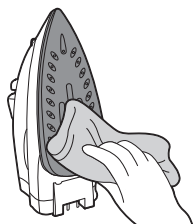
アイロン本体

やわらかい布で拭きます。汚れが取れにくいときは、薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭いた後、洗剤が残らないようにかたく絞った布などで水拭きしてください。



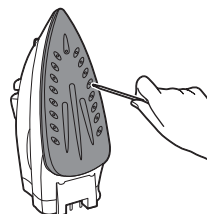
かけ面

スプレーのりを使った後や汚れが付着したときは、その都度ぬれた布で拭いてください。



スチーム噴出口

スチーム噴出口がつまっている場合は、つまようじなどでごみや水あかなどを取り除き、ぬれた布で拭いてください。



接続ピンのよごれ

乾いた布でふいてください。



接続ピン

- 接続ピン・スタンドの接点は紙やすりなどでみがかないでください。接触不良の原因になります。

お願い



スタンドの接点

スチーム切り替えダイヤル

スチーム切り替えダイヤルを一ヶ月に一度程度、掃除する事で安定したスチーム効果が得られます。

1. タンクの水を抜いた後、スチーム切り替えダイヤルを押しこみながら、「ドライ」の位置から右回りに回転させ、ダイヤルを引き抜きます。
 2. めるま湯に市販のクエン酸を溶かし、5%の水溶液を作ります。
例：めるま湯300ccにクエン酸15gを入れます。
 3. 引き抜いたスチーム切り替えダイヤルの先端を、クエン酸水溶液に4時間程度浸します。
 4. ダイヤル先端部分を水道水ですすぎ洗いします。
 5. 引き抜いた位置にスチーム切り替えダイヤルを差し込み、左周りに押し込みながら回します。
- ※スチームダイヤルが完全にセットされていないとアイロンは正しく動作せず、スチームが出ない・水漏れ・湯滴漏れなどの原因になります。
お手入れの後には、必ず取り付けてください。

クリーニングボタン

アイロン内部にたまった汚れを取り除くため、クリーニングを行ってください。（使用する水質や使用頻度にもよりますが月1回が目安です。）

1. スチーム切り替えダイヤルを「ドライ」の位置にします。
2. 注水タンクに2/3程度まで水を入れます。
3. スタンドにセットした後、温度調節ダイヤルを「高」にし2分程度温めます。
4. アイロンをスタンドから外し、流し台などで水平に持ち、「クリーニング」ボタンを押します。
5. この状態でアイロンを前後にゆっくり振り、かけ面からスチームと汚れを排出させます。（注水タンクが空になるまで続けると効果的です。）
6. アイロンをスタンドに戻し、アイロンを温めかけ面を乾かします。



注意

- かけ面から熱いスチームや湯滴が出てきます。やけどなどに十分注意してください。必ず流しなどの上で作業してください。
- スチームではなくお湯が出た場合はクリーニングボタンをはずし、アイロン本体を前後に軽く振りながら、お湯が止まるのを確認してからアイロン本体をスタンドに戻してください。

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状 態	考えられる理由	処 置
熱くならない	● 電源プラグがコンセントにしっかりと差し込まれていない	● 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
	● アイロンをスタンドに正しく置いていない	● スタンドの接点部が接触するよう、まっすぐに置いてください。
スチームが出ない ショットが出ない	● 注水タンクの水が無くなっている	● 注水タンクに満水まで水を入れてください。
	● スチーム切り替えダイヤルが「ドライ」の位置になっている	● スチーム切り替えダイヤルを「スチーム」もしくは「ハーフスチーム」の位置に合わせてください。
	● 温度調節ダイヤルが「高」の位置ではない	● 温度調節ダイヤルを「高」に合わせてください。
	● スチーム噴出口にごみや水アカがつまっている	● つまようじなどで噴出口のつまりを取り除いてください
	● 通電直後に使用している	● パイロットランプが点灯している時は、消灯するまで待ってください。
水漏れ・湯滴がでる	● 低い温度でスチームを使用している	● 温度調節ダイヤルを適温に合わせる（P7参照）
	● 連続してショットボタンを押している	● 温度調節ダイヤルを「高」の位置で2秒以上間隔をあけてショットしてください。
アイロンをかけると布地が焦げる	● 布地にあった温度に設定していない	● 温度設定を適温にあわせるか、あて布をする。
	● 温度調節ダイヤルを高い温度から低い温度に変えた時、パイロットランプが点灯した直後に使っている。	● かけ面が冷めにくいと、温度が下がるのに時間がかかります。パイロットランプが一度点灯した後、再び消灯してから使用してください。
アイロンをかけると衣類が汚れる	● きれいな水を使用していない	● 水を入れるときは、きれいな容器を使用してください。ジュースなどが残っている容器に入れた水を使用すると、衣類を汚す原因になります。
	● かけ面が汚れている	● かけ面やスチーム噴出口の汚れやごみを取り除いてください。
スチーム使用時に白い粉がでる	● 水に含まれるカルシウムなどのミネラル成分が出たもので、異常ではない	● スチームをお使いになる前に、不用品布の上で数回ショットしてからご使用ください。衣類に付着した場合は払っていただくと取れます。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

● ご自分での分解・修理・改造はしないでください。

仕様

電源電圧	AC 100V
電源周波数	50/60Hz
消費電力	1000W
種類	スチーム・ドライ兼用
蒸気発生方式	滴下式
注水量	約240mL
自動温度調節器	調節範囲 約100℃～約190℃
温度過上昇防止装置	温度ヒューズ
製品サイズ	本体：長さ290×幅125×高さ145mm スタンド収納時：長さ265×幅130×高さ255mm
製品質量	本体スタンド含め：約1.4kg 本体のみ：約0.9kg
電源コード長	約1.5m

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。

保証書がありませんと、無料修理保証期間内でも代金を請求される場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、保証書に記載されている期間です。

保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、5年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

コードレス スチームアイロン SIR-02CL

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※ 年 月 日		保証期間 お買い上げ日より：1年間 ただし、消耗品（注水カップなど）を除く	
お客様	お名前	※販売店	住所・店名
	ご住所 〒		
	電話（ ） -		電話（ ） -

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡しください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料で修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
 - お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - 本書の提示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせは

アイリスコール (通話料無料)

0120-311-564

修理に関するお問い合わせは

修理専用コール (通話料無料)

0800-170-7070

受付時間 平日 9:00～17:00、土・日・祝日 9:00～12:00 / 13:00～17:00
(年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAX でのお問い合わせは (通話料無料)

0800-888-2600

Web からの問い合わせは

<http://www.irisohyama.co.jp/support/>

メールフォームにご記入のうえ送信してください